

PIIA Knots  
Public Interest Incorporated Association  
公益社団法人ノッツ

Knots NEXT 'One World, One Life'

公益社団法人Knots ノッツ・結び目

WEBサイト <http://knots.or.jp>

[今号のメッセージ]

公益社団法人 Knots

事務局長 北村美代子さん

●公益社団法人Knots(結び目)は、「人と(ヒト以外の)動物の幸せな共生」をテーマに主に社会教育事業を行っています。

●Knotsが日頃お世話になっております素敵な皆さまから、メッセージを頂くシリーズです。



## 「ナラ」が繋いでくれたご縁に感謝して

幼少期から犬好きの私は、16年前、神戸市動物管理センターで譲渡候補犬のお散歩ボランティアを始めました。

そこで出会った、怖がり自分からは人に近づかない、生後約6カ月の子犬(女子)を、少しでも人に慣れてくれば、と当時のボランティア(檀)と名付けました。

時預かりで託された人は苦手だけれど、先住犬「トチ」(栃男子)の後をついて回って何でも真似をし、共に行動する姿はまるでアーティスティックスイミング。トチとの相性も良かったことから、正式に家族として迎え、「ナラ」(檀)と名付けました。

時預かりで託された、怖い思いをせずに暮らしてほしいとの一心で、社会化のためにとしつけ教室に通い、多くの先生・仲間との出会いに恵まれました。怖がりではあったものの、様々な経験を通して徐々に警戒心も薄れていき、甘え上手な愛犬へと成長しました。



長期休暇には日本中を車で旅して、車に乗ることにも出かけるようになりました。四季折々の花や、風景を楽しむ散策にも出かけるようになりました。

2日後にはこうべ動物共生センター管理運営業務公募型プロポーザルの書類提出締切日が迫っていました。同僚のサポートの中、看取ることができ、ナラが応援してくれると無事に書類を提出。命日からちょうど1カ月後に、受託決定の通知

を受け、山歩きも楽しみました。ここ数年、療法食(腎臓)を食べていましたが、投薬もなく元気にしていくところが、急に体調を崩した今年の四月には、食欲が無くなり、黄疸が出て、自立歩行ができなくなり、受診してからわずか5日ほどで旅立ってしまいました。

を頂きました。動物管理センターでの出会いから16年。ドッグランから脱走したり、留守番中に我慢できず出した便に雑巾を被せて隠したり、床や座布団の上にドッグフードを3粒ずつ配置し境界を作るなどの強烈な思い出を残し、一つの時代を駆け抜けていったナラ。

共に生きることの素晴らしさを私に伝え、新しい共生センターへのご縁を繋いでくれたナラに感謝しています。これからも「飼い主としての気持ち」を忘れず、共生を支える仲間たちと共に、人と動物の幸せな共生のために尽力して参ります。